

令和6年度からの学校生活に向けて

令和2年には堺市立すべての学校と幼稚園が臨時休業となった新型コロナウイルス感染症の影響も、令和5年5月8日に法改正がなされ、一定の落ち着きをみました。現在では、学校感染症としてインフルエンザと同様の取扱いとなっています。

日常生活においてマスクをつけるかつかないかは、みなさんそれぞれの判断に委ねられ、その意思が尊重されることが大切です。

ただし、近年、熱中症の危険性が高まっているため、マスクをつける場合は、気候や体調、活動内容に十分留意していただきたいと思います。

給食の時間についても、長い間、前を向いて黙食を行ってきたことで、子どもたちのなかには、話しながら食べることに抵抗を感じる子もいると思いますが、あらためて会話を楽しみながら仲間と一緒に食事をとることの喜びや楽しさを感じてもらいたいと思います。

新型コロナウイルス感染症の予防には、風邪やインフルエンザのように、換気や手洗い、規則正しい生活を送ることなどの対策が有効だということもわかっています。感染症に対する正しい知識を持って、心身ともに健やかな学校生活を送ってほしいと思います。

幼児児童生徒のみなさんへ

学校園では、マスクをつけることもつけないことも、誰にも強制されることはありません。

ただし、暑い日や運動するときにマスクをつけていると、体調が悪くなることがありますので、はずすようにしましょう。

また、給食の時間は、会話を楽しみながら食べましょう。

保護者のみなさまへ

日々のお子さまの健康管理や感染症対策にご尽力いただき、ありがとうございます。

子どもたちのなかには、3年間に及びマスク着用の生活に慣れ、はずしたがらない子もいます。本人の気持ちを尊重しつつ、マスクをつけることのメリットとデメリット、またマスクをはずすことで得られるコミュニケーションの大切さについても、ご家庭でお話していただきたいと思います。

教職員のみなさまへ

コロナ禍を経て、形を変えた取組も多くあることと思います。昨年度は過渡期であり、様々な混乱の中、教育活動を進めてくださったことと存じます。

今年度からは、それをふまえ、よりよい教育活動の推進をお願いいたします。

また、新型コロナウイルス感染症に関わる、マスクやワクチンに対する考え方など、それぞれの意思を尊重し、それに対する差別や偏見などが起きないように、今後も子どもたちへの指導をよろしくお願いします。